



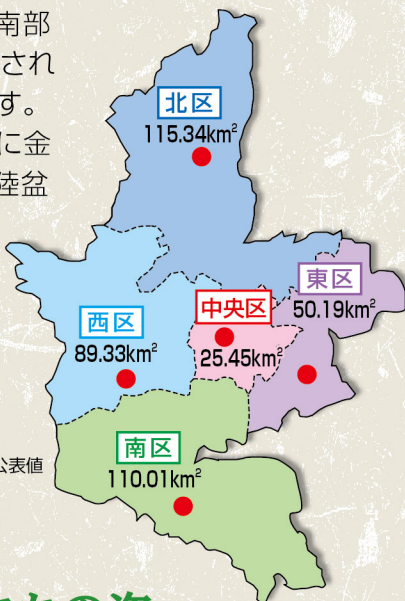
## 位置及び地勢

熊本市は、九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分に位置し、面積は390.32km<sup>2</sup>です。

地勢は、金峰山を主軸とする複式火山帯と、これに連なる竜田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪山群によってできた丘陵地帯、南部は、白川の三角州で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気候条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

● 区役所の位置  
面積：国土地理院公表値



## めざすまちの姿

## 「上質な生活都市」

（熊本市第7次総合計画：平成28年度～令和5年度）

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたい、訪れたいまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。

### ～Ⅳ 熊本地震からの復旧復興～

めざすまちの姿を実現するため、市民力・地域力・行政力を結集し、熊本地震からの復旧復興に最優先に取り組めます。

#### 1. 被災者の生活再建に向けたトータルケア

#### 2. 防災・減災のまちづくり

熊本地震の経験と教訓をいかし、ハード・ソフト両面から市民・地域・行政の災害対応力の更なる向上に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。

ア 災害に強い都市基盤の形成

イ 市民・地域・行政の災害対応力の強化

ウ 避難環境の強化

#### 3. 熊本地震の記録と記憶の伝承



各区の人口です！

## 人口

明治22年、市制施行当時約4.3万人（明治22年12月31日現在）であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し約63万人となりました。

その後、平成20年10月6日には富合町と、平成22年3月23日に植木町、城南町と合併し、市域を拡大した新「熊本市」は平成24年4月1日、約74万人、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へ移行しました。

|     | 人 口      |          |          | 世 帯       |
|-----|----------|----------|----------|-----------|
|     | 総 計      | 男 性      | 女 性      |           |
| 中央区 | 176,767人 | 82,029人  | 94,738人  | 95,811世帯  |
| 東 区 | 190,673人 | 90,925人  | 99,748人  | 88,270世帯  |
| 西 区 | 90,555人  | 42,465人  | 48,090人  | 43,851世帯  |
| 南 区 | 133,114人 | 63,277人  | 69,837人  | 57,489世帯  |
| 北 区 | 140,574人 | 67,034人  | 73,540人  | 64,445世帯  |
| 計   | 731,683人 | 345,730人 | 385,953人 | 349,866世帯 |

令和4年1月1日現在（熊本市推計人口）